

Requested document:	JP2002117323 click here to view the pdf document
----------------------------	---

LOTTERY SYSTEM AND LOTTERY METHOD

Patent Number: JP2002117323
Publication date: 2002-04-19
Inventor(s): OHAMA FUMITARO
Applicant(s): XAVEL INC
Requested Patent: ☐ [JP2002117323](#)
Application Number: JP20000309752 20001010
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F17/60
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To induce a user to access a site so as to increase the number of accesses to the site.

SOLUTION: A site forming part 15 reads prize contents read from a prize storage part 11 and advertiser contents read from a contents accumulation part 12 so as to form the site. A user accesses the site for a prize because the user can take part in a prize competition of the prize contents from a site transmitted from a site transmission part 16 to a cellular phone 40 or a personal computer terminal 50 via the Internet 20. In lottery, a lottery part 17 decides a winner from applicants.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-117323

(P2002-117323A)

(43)公開日 平成14年4月19日(2002.4.19)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C
	1 4 8		1 4 8
	5 0 4		5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2000-309752(P2000-309752)

(22)出願日 平成12年10月10日(2000.10.10)

(71)出願人 500170283

株式会社 ゼイヴェル

東京都港区西麻布1-14-17 スカラビル
6 F

(72)発明者 大濱 史太郎

東京都港区西麻布1-14-17 スカラビル
6 F 株式会社ゼイヴェル内

(74)代理人 100086209

弁理士 網野 友康 (外2名)

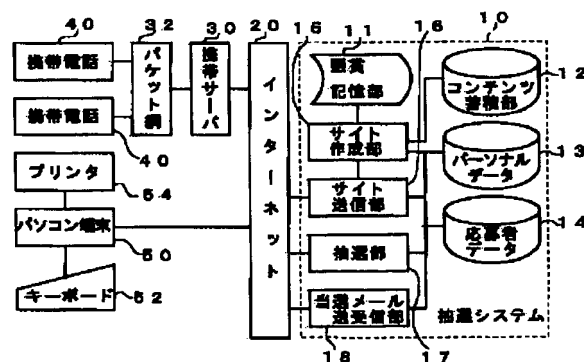
Fターム(参考) 5B049 BB36 BB49 CC00 EE00 GG00
GG07

(54)【発明の名称】 抽選システム、及び抽選方法

(57)【要約】

【課題】 ユーザによるサイトへのアクセスを誘起して、サイトへのアクセス数を上昇させる。

【解決手段】 サイト作成部15は懸賞記憶部11から読み出した懸賞コンテンツとコンテンツ蓄積部12から読み出した広告主のコンテンツとを読み出してサイトを作成する。サイト送信部16より携帯電話40やパソコン端末50にインターネット20を介して送信されたサイトから、ユーザは懸賞コンテンツの懸賞に応募することができるので、ユーザは懸賞目当てにサイトにアクセスする。抽選時になると抽選部17が応募者の中から当選者を決定する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め登録された会員がインターネットを介してユーザ端末からアクセス可能であり、前記会員の少なくとも一人が一定の特典を得られる懸賞に応募可能な少なくとも一つの懸賞コンテンツと、その他の種類の複数のコンテンツから構成されるサイトを前記会員に提供するサイト提供手段と、前記懸賞の所定の抽選時に、前記会員のうち前記懸賞に応募した応募者の中から当選者を抽選する抽選手段とを含むことを特徴とする抽選システム。

【請求項2】 前記会員のパーソナルデータに基づいて、前記各会員に適合した内容の前記サイトを構成するサイト構成手段をさらに含む請求項1に記載の抽選システム。

【請求項3】 前記パーソナルデータは、前記会員が会員登録をする際に、及び／または前記会員が前記懸賞に応募する際に、前記サイト構成手段に蓄積される請求項2に記載の抽選システム。

【請求項4】 前記サイト構成手段は、予め登録された複数のコンテンツの中から、前記パーソナルデータに基づいて、前記サイトを構成する前記複数のコンテンツを選択する請求項2または3に記載の抽選システム。

【請求項5】 前記サイト構成手段は、前記各会員に、前記各会員それぞれに適合した内容の前記サイトのURLを電子メールにより送信する請求項2ないし4のいずれかに記載の抽選システム。

【請求項6】 前記抽選手段は、前記抽選を行うまでの前記応募者のサイト利用履歴に応じて前記懸賞の当選率を変更する請求項1ないし5に記載の抽選システム。

【請求項7】 前記抽選手段は、前記サイト利用履歴をサイト利用ポイントに数値化し、前記サイト利用ポイントが高い順に前記応募者をソートし、ソートされた順に前記特典の数を前記応募者の総数で除した当選確率を適用して抽選を行う請求項6に記載の抽選システム。

【請求項8】 前記抽選手段は、前記抽選に当選した当選者の前記ユーザ端末に当選の確認を返信するための確認画面のURLを電子メールにより送信し、前記確認画面のURL送信後、一定時間経過前に前記確認が返信された前記当選者の前記ユーザ端末に当選を証明するための証明画面のURLを電子メールにより送信し、する請求項1ないし7のいずれかに記載の抽選システム。

【請求項9】 複数の広告主から提供された複数のコンテンツを随時蓄積するコンテンツ蓄積過程と、前記複数のコンテンツから構成されるサイトにインターネットを介してアクセスできる会員を随時登録し、その際に前記各会員それぞれのパーソナルデータを蓄積する会員登録過程と、前記会員の少なくとも一人が一定の特典を得られる懸賞に応募可能な少なくとも一つの懸賞コンテンツと、前記パーソナルデータに基づいて前記会員それぞれに適合す

るように、蓄積された前記複数のコンテンツの中から選択された複数のコンテンツとを含む前記サイトを構成するサイト構成過程と、

前記懸賞に応募した応募者を蓄積し、前記応募者ごとに前記応募者による前記サイトの利用履歴を蓄積する応募者蓄積過程と、

前記サイトの利用履歴に応じて変動する当選率に基づいて、前記応募者の中から当選者を抽選する抽選過程とを含むことを特徴とする抽選方法。

【請求項10】 前記応募者蓄積過程において、前記懸賞に応募する際に前記各会員それぞれの前記パーソナルデータを蓄積する請求項9に記載の抽選方法。

【請求項11】 前記抽選過程の後に、前記当選者に対し当選したことを知らせる当選告知過程を含む請求項9または10に記載の抽選方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを介して複数のコンテンツの提供を行うためのサイトに関し、特にサイトにアクセスしたユーザが一定の特典を得ることのできる懸賞のための抽選システム、及び抽選方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットが普及しつつある現在、ユーザは自らの必要とするコンテンツの提供を受けようとし、その一方で広告主等はユーザの必要とするコンテンツを提供しようとしているが、膨大な数のサイトが存在するため、ユーザは所望のコンテンツにたどり着くことが困難である。例えば検索エンジンを利用して的確に絞り込むことが難しく、時間がかかる。運良く所望のサイトを集めたリンク集に巡り会ったとしても、管理・運用はボランティアの管理者次第であり、リンクされているサイトが古かったり存在しなかったりすることも多い。また営利や広告宣伝を目的とするサイトは、商売敵のサイトのリンクをわざわざ張ってやるようなことはない。そこで、主として広告主の出す広告費により運営され、各広告主の提供する複数のコンテンツをカテゴリごとにまとめて表示するリンクサイトが設けられている。複数のコンテンツから所望の情報を得ようとするユーザが、なるべく多くこのサイトを訪れれば、広告主はリンクサイトの管理者に支払った広告費以上の利益を得ることができる。従ってこのような広告収入により成り立っているリンクサイトの価値は、ユーザのアクセス数の多さに依存している。よってこのようなリンクサイトには、ユーザのアクセスを促進するような要素が必要となってくる。このような事情は会員から情報料を徴収する有料サイトでも同様である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】よって本発明の目的は、ユーザによるサイトへのアクセスを誘起するような

抽選システム及び抽選方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、予め登録された会員がインターネットを介してユーザ端末からアクセス可能であり、前記会員の少なくとも一人が一定の特典を得られる懸賞に応募可能な少なくとも一つの懸賞コンテンツと、その他の種類の複数のコンテンツから構成されるサイトを前記会員に提供するサイト提供手段と、前記懸賞の所定の抽選時に、前記会員のうち前記懸賞に応募した応募者の中から当選者を抽選する抽選手段とを含んで抽選システムを構成した。

【0005】本発明に係る抽選システムにおいては、予め登録された会員は、サイト提供手段が提供するサイトに、ユーザ端末を利用してインターネットを介してアクセスすることができる。サイトには懸賞コンテンツと、その他の種類の複数のコンテンツが含まれている。会員は、懸賞コンテンツの懸賞に応募して応募者になることにより、懸賞の所定の抽選時に抽選手段が行う抽選によって当選者となると、一定の特典を得ることができる。

【0006】よって本発明に係る抽選システムによると、会員は懸賞コンテンツによる懸賞を目当てにサイト提供手段の提供するサイトにアクセスすることになり、従ってサイトへのアクセスを誘起してアクセス数を増加させることができる。

【0007】サイト構成手段は、会員のパーソナルデータに基づいて、各会員に適合した内容のサイトを構成するようにすることができる。これにより、各会員はサイト構成手段が提供するサイトに一度でもアクセスすると、自分が必要とし、興味をそそられる種類のコンテンツが集められているので、再度アクセスさせる動機付けとすることができる。パーソナルデータは、会員が会員登録をする際に、及び／または会員が懸賞に応募する際に、サイト構成手段に蓄積することができる。すなわち会員登録に必要な会員の住所・年齢・職業等や、懸賞の応募に必要なアンケートの答えとなる趣味・性向・嗜好・心理状態等のパーソナルデータを分析することにより、各会員ごとにカテゴライズされたサイトを構成する。例えばアンケートにおいてイタリア料理が好きと回答した会員には、居住地や職場の近くのイタリア料理店のホームページをカテゴライズしてサイトを構成する。好ましくは、サイト構成手段は、予め登録された複数のコンテンツの中から、パーソナルデータに基づいて、サイトを構成する複数のコンテンツを選択する。さらにサイト構成手段は、各会員に、各会員それぞれに適合した内容のサイトのURLを電子メールにより送信して、会員が容易にサイトにアクセスできるようにしてもよい。なおここにいう懸賞には、全員当選、すなわち当選率100%のものも含まれる。また懸賞コンテンツは、いったん応募が行われると、応募した会員のサイトからは削

除され、他の懸賞コンテンツが組み込まれるが、懸賞コンテンツが1つも存在しない状態になる可能性もある。

【0008】また、抽選手段は、抽選を行うまでの応募者のサイト利用履歴に応じて懸賞の当選率を変更するように構成することができる。このことを会員に知らせることにより、会員は懸賞の当選率を上げようとしてサイトをより頻繁に利用しようとするので、サイトの利用率を上昇させることができる。例えば抽選手段は、サイト利用履歴をサイト利用ポイントに数値化し、サイト利用ポイントが高い順に応募者をソートし、ソートされた順に特典の数を応募者の総数で除した当選確率を適用して抽選を行う。例えば、特典の数（当選者）が1個で、応募者が100人だった場合、当選確率は100分の1となる。これをサイト利用ポイントが高い順に適用すると、最高ポイントを持つ応募者は $1/100$ の当選率、第2位の応募者は $(1/100) \times (99/100)$ 、第3位の応募者は $(1/100) \times (99/100) \times (99/100) \cdots$ のように、サイト利用ポイントが高い順に当選率が高くなる。サイト利用履歴のサイト利用ポイントへの数値化は例えば広告主などのサイト管理者の提供するコンテンツを一つクリックするごとに20ポイント、会員を紹介すると10ポイントのように行われる。サイト利用ポイントは、例えば抽選前ヶ月のような一定期間の分が積算される。その他、例えば基準値となるサイト利用ポイントを決めておき、その何倍かによって当選率が倍増されていくような方式でもよい。

【0009】抽選が終了すると、抽選手段は、抽選に当選した当選者のユーザ端末に当選の確認を返信するための確認画面のURLを電子メールにより送信し、確認画面のURL送信後、一定時間経過前に確認が返信された当選者のユーザ端末に当選を証明するための証明画面のURLを電子メールにより送信する。確認画面には当選者がクリックするボタンを表示し、これをクリックすることにより確認が返信される。証明画面からは、例えば証明画像を当選者にダウンロードさせ、これを当選の証明とする。この証明画像は一度しかダウンロードできず、また当選者本人以外での使用が禁じられていることが注意書きとして明示されている。証明画像には加工や偽造が困難なパスワードや通し番号やマークを含むようにすることができる。この証明画像は、例えばユーザ端末がパソコンであればプリントアウトし、携帯電話であればメモリに格納しておいて、懸賞の特典と引き換えるようにする。例えば特典が、ある飲食店での無料の飲食物の提供であれば、その飲食店の店員に証明画像を表示した携帯電話の画面を見せることにより、当選者であることを証明する。「特典」には、例えばこのようなサービスの無料・割引給付や賞品や、通常では立ち入れない場所へのバス、例えばコンサートや舞台のバックステージバスなどが含まれる。なお、もしも当選者が一定期間内に確認の返信をしない場合には、再度確認画面のURL

を送っても再抽選を行ってもよい。当選者が決定したら、例えば抽選システムの管理者から、当選者のパーソナルデータに含まれている電話番号に電話をかけ、本人の確認を行うほか、特典の利用方法や入手方法などを説明することになる。

【0010】以上のような抽選システムの各構成部材は物理的に一つのサーバ内にモジュールとして構成することもでき、2つ以上のサーバをインターネットやLANで接続することにより、分散して構成することもできる。例えば、サイト構成手段はWebサーバであり、コンテンツやパーソナルデータやサイト利用履歴等はDBサーバに格納し、抽選手段は専用のサーバとして、それぞれを接続することにより構成することができる。ユーザ端末は、インターネットを介してデータ通信可能な機器であればその種類を問うものではなく、例えばパソコン、PDA、携帯電話その他の機器である。

【0011】また、本発明は、複数の広告主から提供された複数のコンテンツを随時蓄積するコンテンツ蓄積過程と、複数のコンテンツから構成されるサイトにインターネットを介してアクセスできる会員を随時登録し、その際に各会員それぞれのパーソナルデータを蓄積する会員登録過程と、会員の少なくとも一人が一定の特典を得られる懸賞に応募可能な少なくとも一つの懸賞コンテンツと、パーソナルデータに基づいて会員それぞれに適合するように、蓄積された複数のコンテンツの中から選択された複数のコンテンツとを含むサイトを構成するサイト構成過程と、懸賞に応募した応募者を蓄積し、応募者ごとに応募者によるサイトの利用履歴を蓄積する応募者蓄積過程と、サイトの利用履歴に応じて変動する当選率に基づいて、応募者の中から当選者を抽選する抽選過程とを含んで抽選方法を構成した。

【0012】本発明に係る抽選方法においては、まず広告主から複数のコンテンツが提供され、随時蓄積される。これらのコンテンツから構成されるサイトには基本的には会員のみがアクセス可能であり、会員の登録を随時行う。このとき、各会員それぞれのパーソナルデータを蓄積しておく。サイトは、パーソナルデータに基づいて各会員それぞれに適合するように、蓄積された複数のコンテンツの中から選択された複数のコンテンツを含む。会員はこのサイトにアクセスし、複数のコンテンツを見るとともに、サイトに含まれている懸賞コンテンツの懸賞に応募することができる。懸賞に応募した応募者は、そのサイトの利用履歴とともに蓄積され、抽選時には、サイトの利用履歴に応じて変動する当選率に基づいて抽選が行われる。当選者には、一定の特典が与えられる。

【0013】このように本発明に係る抽選方法によると、サイトは会員ごとのパーソナルデータに基づいて各会員それぞれに適合するように選択されているので、各会員はこのサイトにアクセスすれば所望の情報を得るこ

とを期待する。また会員は、このサイトに含まれる懸賞コンテンツの懸賞が、サイトを頻繁に利用することにより当たりやすくなることを知っているので、会員によるサイトへのアクセスを誘起させる。よって会員によるサイトへのアクセス数を増加させることができる。

【0014】また、応募者蓄積過程において、懸賞に応募する際に各会員それぞれのパーソナルデータを蓄積するようにしてもよく、抽選過程の後に、当選者に対し当選したことを知らせる当選告知過程とを含んでもよい。

【0015】

【発明の実施の形態】次に、本発明に係る抽選システムの一つの実施の形態について、図を参照しつつ説明する。

【0016】図1は、本発明に係る抽選システムの一つの実施の形態の主要な構成を示すブロック図である。

【0017】同図において抽選システム10中、懸賞記憶部11、コンテンツ蓄積部12、パーソナルデータ13及びサイト作成部15は会員向けのサイトを構成し、サイト送信部16はサイト作成部15により作成されたサイトを提供し、応募者データ14、抽選部17及び当選メール送受信部18は応募者の中から懸賞の当選者を抽選し、当選者に通知する。

【0018】抽選システム10は、携帯電話40及びパソコン端末50の各ユーザ端末とインターネット20を介して接続可能である。携帯電話40は、インターネット20、携帯サーバ30及びパケット網32を介して抽選システム10との間でデータ通信を行うことができる。パソコン端末50にはキーボード52及びプリンタ54のような入出力装置が接続されている。

【0019】懸賞記憶部11は、サイト送信部16が提供するサイトに含まれる懸賞コンテンツを記憶している。会員はユーザ端末を通じて懸賞コンテンツにアクセスし、ユーザ端末から応募操作を行うことにより、会員の中の少なくとも一人が特典を得ることのできる懸賞に応募することができる。懸賞コンテンツには、応募に伴い、アンケートに回答する必要のあるものも含まれる。賞品や無料サービス等の特典は、通常、コンテンツ蓄積部12に蓄積されたコンテンツを提供している広告主から供給される。供給された懸賞に応じて、抽選システム10の管理者は懸賞コンテンツを作成し、懸賞記憶部11に記憶させる。懸賞コンテンツは複数の懸賞記憶部11に記憶されていてもよい。

【0020】コンテンツ蓄積部12には、抽選システム10の管理者と契約して広告費を支払う複数の広告主から供給され、あるいは広告主のために管理者等により作成されたコンテンツが蓄積されている。コンテンツは具体的にはサイト作成部15の作成する同一サイト内の各ページや、広告主の運営するサイトなどにジャンプするURL、バナー広告、アンカー、クリックブルマップなどである。すなわちコンテンツ自体がコンテンツ蓄積部

12に格納されている場合もあり、他のWebサーバに格納されている場合もある。サイト作成部15の作成する同一サイト内の同じページに複数の広告主の情報や広告が含まれていることもある。その場合例えば飲食店ごと、さらにその中でも中華料理屋、さらにラーメン屋のように予めカテゴライズされて、同じページにまとめられている。

【0021】パーソナルデータ13は、抽選システム10の提供するサイトにアクセス可能な会員のパーソナルデータである。パーソナルデータ13は会員が新規登録する際に収集される。すなわち、ユーザがユーザ端末を通じて抽選システム10のサイトのトップページにアクセスすると、会員登録を行うことを求められる。会員登録をしない場合には、他のページに進むことができない。会員登録を行う際、ユーザは住所・氏名・年齢・メールアドレス・職業・趣味・好みのファッションの傾向、料理の種類、音楽のジャンル、芸能人などを入力する。このとき入力された項目がサイト送信部16から転送されてパーソナルデータ13として蓄積される。

【0022】パーソナルデータ13は、会員登録の後にも、懸賞コンテンツに応募する際に蓄積される。懸賞コンテンツにはアンケートに回答することが応募の条件になっているものがあり、このときのアンケートの回答がパーソナルデータ13として蓄積される。アンケートには特に特典といえるものが含まれていない場合もあり得る。

【0023】サイト作成部15は、懸賞記憶部11から読み出した懸賞コンテンツとコンテンツ蓄積部12から読み出したコンテンツとをそれぞれ複数組み合わせるサイトを作成する。その際、サイト作成部15は、各会員のパーソナルデータ13に基づいて、各会員に適合した内容のサイトを構成する。すなわち、例えばイタリア料理が好きで東京在住の会員であれば、東京近郊のイタリア料理屋のコンテンツをコンテンツ蓄積部12から読み出してカテゴライズされたサイトを作成する。作成したサイトはサイト送信部16に転送する。これにより、各会員はサイトに一度でもアクセスすると、自分が必要とし、興味をそそられる種類のコンテンツが一箇所に集められているので、また情報がほしいときに再度アクセスさせる動機付けとすることができる。また、懸賞コンテンツもパーソナルデータ13に基づいて、会員が応募を欲するような特典のものを選択する。なお懸賞コンテンツについては、会員が応募済のものはサイトから削除することができる。この場合、他の懸賞コンテンツを新たに追加してもよい。

【0024】サイト送信部16は、ユーザ端末からのアクセスに応じて、会員ごとに作成されているサイトを提供。具体的にはサイト送信部16は、サイト送信部16に転送されて格納されている各サイトにURLを付し、そのURLを各会員に電子メールに添付して送信す

る。電子メールを受信した会員は、メールに添付されたURLにより、その会員向けにカスタマイズされたサイトに容易にアクセスすることができる。URLはユーザ端末内にブックマークとして登録しておけば、同じサイトに容易にアクセスすることができる。

【0025】また前述のようにサイト送信部16は会員登録用のトップページをユーザ端末に送信して会員登録を行い、会員登録及びアンケートの記入事項よりパーソナルデータ13を作成する。また、会員が懸賞に応募した場合には応募者データ14を作成する。

【0026】応募者データ14は、懸賞ごとの応募者、及び応募者ごとのサイト利用履歴を含む。サイト利用履歴とは、抽選を行うまでの所定の期間内に、各応募者が何回サイトにアクセスしたか、何人の知人を紹介して会員にしたか、コンテンツをクリックしたか、例えば商品を購入するなどコンテンツに基づいてアクションを起こしたか等が含まれる。サイト利用履歴は、例えばcookieを利用して蓄積することができる。

【0027】抽選部17は、懸賞ごとに定められた抽選時に抽選を行い、応募者データ14の応募者の中から当選者を決定する。このとき抽選部17は、応募者データ14に含まれる抽選を行うまでの応募者のサイト利用履歴に応じて、懸賞の当選率を変更する。このことを会員に了知させることにより、会員は懸賞の当選率を上げようとしてサイトをより頻繁に利用するので、サイトの利用率を上昇させることができる。抽選部17は、サイト利用履歴をサイト利用ポイントに数値化し、サイト利用ポイントが高い順に応募者をソートし、ソートされた順に特典の数を応募者の総数で除した当選確率を適用して抽選を行う。例えば、特典の数(当選者)が1個で、応募者が100人だった場合、当選確率は100分の1となる。これをサイト利用ポイントが高い順に適用すると、最高ポイントを持つ応募者は $1/100$ の当選率、第2位の応募者は $(1/100) \times (99/100)$ 、第3位の応募者は $(1/100) \times (99/100) \times (99/100) \dots$ のように、サイト利用ポイントが高い順に当選率を高くする。サイト利用履歴のサイト利用ポイントへの数値化は例えば広告主の提供するバナーを一つクリックするごとに20ポイント、アンケートに答えると20ポイント、友人を一人紹介すると10ポイントのように行われる。抽選の際には、続けて何度も同じ会員が当選しないように配慮することもできる。

【0028】当選メール送受信部18は、抽選部17による抽選が終了すると、パーソナルデータ13を利用して、電子メールにより当選者に当選したことを知らせる。まず当選メール送受信部18は抽選に当選した当選者のユーザ端末に当選の確認を返信するための確認画面のURLを電子メールにより送信する。確認画面のURL送信後、一定時間経過前に確認が返信された当選者のユーザ端末に当選を証明するための証明画面のURLを

電子メールにより送信する。確認画面及び証明画面はサイト送信部16の提供するサイトに含まれているが、通常の手段ではアクセスできないようになっている。

【0029】確認画面には当選者がクリックするボタンを表示し、これをクリックすることにより確認が返信される。証明画面からは証明画像を当選者にダウンロードさせて、これを当選の証明とする。証明画像は一度しかダウンロードできず、また当選者本人以外の使用が禁じられていることが注意書きとして明示されている。証明画像には加工や偽造が困難なパスワードや通し番号やマークや芸能人のサイン等を含む。この証明画像は、例えばパソコン50のプリンタ54からプリントアウトし、あるいは携帯電話40メモリに格納しておいて、懸賞の特典と引き換えるようにする。例えば特典が飲食店での無料の飲食物の提供であれば、その飲食店の店員に証明画像を表示した携帯電話の画面を見せることにより、当選者であることを証明する。「特典」には、このようなサービスの無料・割引給付や賞品や、通常では立ち入れない場所へのパス、例えばコンサートや舞台のバックステージパスなどが含まれる。なお、もしも当選者が一定期間内に確認の返信をしない場合、当選メール送受信部18は再度確認画面のURLを送る。さらに一定期間確認を待ち、それでも返信がない場合には再抽選を行う。これらの手順を踏んで当選者が決定したら、電子メールあるいは抽選システム10の管理者が当選者のパーソナルデータ13に含まれる電話番号に電話をかけることにより、本人の確認を行うほか、特典の利用方法や入手方法などを説明する。

【0030】以上のような抽選システム10は、各構成部材を物理的に一つのサーバ内にモジュールとして構成することもできるが、本実施の形態においては、懸賞記憶部11、サイト作成部15及びサイト送信部16は一つのWebサーバであり、コンテンツ蓄積部12、パーソナルデータ13及び応募者データ14はDBサーバであり、抽選部17及び当選メール送受信部18は専用のサーバであり、それぞれLANにより接続されている。

【0031】次に本実施の形態の作用について説明する。図2、3は本実施の形態における処理の流れを示すフローチャートである。図2は会員登録から懸賞応募及びアンケート回答までの処理を、図3は抽選から特典を引き換えることのできる状態になるまでの処理をそれぞれ示す。

【0032】図2以下の手順が開始される前に、複数の広告主からそれぞれコンテンツや懸賞を供給してもらう必要がある。広告主との契約は会員登録と同様にトップページから手続きすることができ、広告主からインターネットを通じてコンテンツがサイト送信部16に送信され、コンテンツ蓄積部12に蓄積される。広告主の募集は随時行われている。

【0033】図2において、未登録の会員は、抽選シス

テム10にアクセスすると表示されるTOPページから会員登録を行わなければならない。TOPページの説明を読み、会員になりたいユーザがTOPページの会員登録ボタンを押すと(ステップS201)、まず規約が表示され(ステップS202)、これに同意すれば会員登録画面が表示され、ユーザはID、パスワード及びメールアドレスを入力する(ステップS203)。これらを入力できない場合には会員になれず、提供するサービスを受けることができない(ステップS204)。さらに個人情報を入力することに同意し(ステップS205)、アンケートに答え、個人情報を入力すると(ステップS206)、特別会員として登録される(ステップS207)。個人情報の入力に同意しない場合には一般会員として登録される(ステップS208)。

【0034】特別会員として登録された場合、パーソナルデータに基づいて会員専用にかテゴライズされたページが作成され(ステップS209)、そのページのURLがメール送信され、一般会員のためにはカテゴライズされていない一般会員向けのURLがメール送信される(ステップS210)。特別会員のための特別サイトにおいては、特別会員は懸賞コンテンツからの懸賞応募など全てのサービスを受けることができ(ステップS211)、一般会員用の一般サイトからは限られたサービスしか受けることができない(ステップS212)。URLはブックマークしておく。

【0035】特別会員が特別サイトにアクセスすると、メニューには懸賞のアンカーが表示される(ステップS213)。これを選択すると懸賞ページが表示され(ステップS214)、さらに懸賞の中から懸賞NO.1を選択すると応募するかどうかを尋ねられ(ステップS215)、応募すると特別会員ごとの各個人のアクションの記録がサイト利用履歴として開始される(ステップS216)。同時に、その会員は応募者として応募者データに蓄積される。応募しなければ、メニュー画面に戻る(ステップS217)。特別サイトは、特別会員のアクションに応じてページが改良され(ステップS218)、既に応募された項目を削除したページが作成されて(ステップS219)、懸賞NO.1が削除された懸賞ページが表示される(ステップS220)。

【0036】メニュー画面からアンケートを選択すると(ステップS221)、アンケートページが表示され(ステップS222)、アンケートを選択するとアンケート画面が表示されるので(ステップS223)、アンケートに回答して送信ボタンを押す。アンケートページの特典を選択すると、特典の説明が表示される(ステップS224)。送信されたアンケートの結果とアクションはそれぞれDBサーバに送信され(ステップS225)、パーソナルデータが記録され(ステップS226)、応募者データが記録される(ステップS227)。次にアクションに応じてページが改良され(ステ

ップS228)、アンケートページから既に答えたアンケートが削除され(ステップS229)、アンケートページに戻る(ステップS230)。

【0037】図3において、ある懸賞の抽選日になると(ステップS301)、応募者のアクションがサイト利用履歴として読み出され、ポイントに換算されて、記録されている個人ポイントが積算され(ステップS304)、ポイントの高い順に応募者がソートされる(ステップS302)。抽選日でなければ次のカテゴリの処理などが行われる(ステップS303)。

【0038】抽選は、各懸賞の当選者数に応じて確率を設定して行う。例えば当選者が一人で応募数が100ならば100分の1となる。この確率をポイントの高い応募者の順に適用していくと、一人の当選者が選出される(ステップS305)。その当選者は無条件に当選者として最終決定されず、パーソナルデータを参照して、一定期間内に当選したことがあるかどうか確認されて(ステップS306)、当選したことがある場合には当選者から外されて再度抽選が行われる。これは、続けて同じ会員が当選してしまうと、サイトを何回も利用させるという懸賞の効果が薄れ、広い範囲に及ばなくなってしまうからである。この条件に当てはまらなければ一人の当選者が決定し、全部の当選者数が満たされるまでの過程を繰り返す。

【0039】当選者数が満たされると(ステップS307)、当選メール送受信部18から当選者のユーザ端末に、確認画面のURLが添付された確認メールが送信されて(ステップS308)、当選者は懸賞に当選したことを通知される(ステップS309)。当選メール送受信部18は当選者がメールをあけてURLをクリックし、ユーザ端末に表示された確認画面の確認ボタンが押されるのを待つ(ステップS310)。当選者が確認画面の確認ボタンを押すと当選者からの確認が返信され、これを受信した当選メール送受信部18は当選者に向けてチケットのURLを送信する(ステップS311)。もしも一定期間内に返信がなければ、当選メール送受信部18は再送処理を行い(ステップS312)、一度目ならば確認メールを再送し(ステップS313)、2度目には再抽選処理を行う(ステップS314)。

【0040】チケットのURLを送信後、チケットのURLにアクセスがあったことが確認されれば(ステップS315)、そのチケットのURLをロックして(ステップS316)、2度目のアクセスを防止する。さらに当選メール送受信部18は確認・詳細メールを送信して

(ステップS317)、特典の利用方法や引き換え方法等を説明し、詳細手続に移行する(ステップS318)。

【0041】以上のように本実施の形態に係る抽選システム10によると、会員は懸賞コンテンツによる懸賞を目当てにサイトにアクセスすることになり、従ってサイトへのアクセスを誘起してアクセス数を増加させることができる。

【0042】以上本発明の実施の形態について説明したが、本発明は上記実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨の範囲内において適宜変形可能であることはいうまでもない。

【0043】

【発明の効果】以上のように本発明に係る抽選システム及び抽選方法によると、ユーザによるサイトへのアクセスを誘起することができ、従ってアクセス数を上昇させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明に係る抽選システムの一つの実施の形態の主要な構成を示すブロック図である。

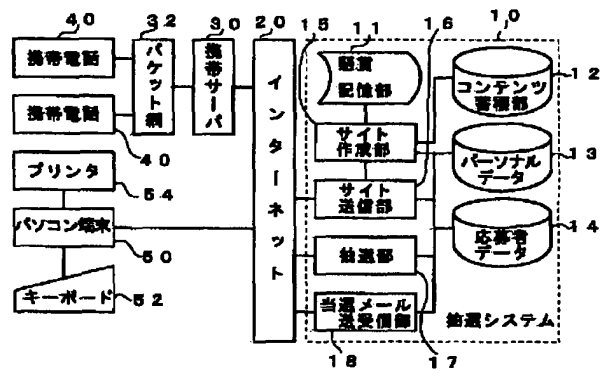
【図2】図2は、図1の抽選システムにおける会員登録から懸賞及びアンケートの処理までの処理の流れを示すフローチャートである。

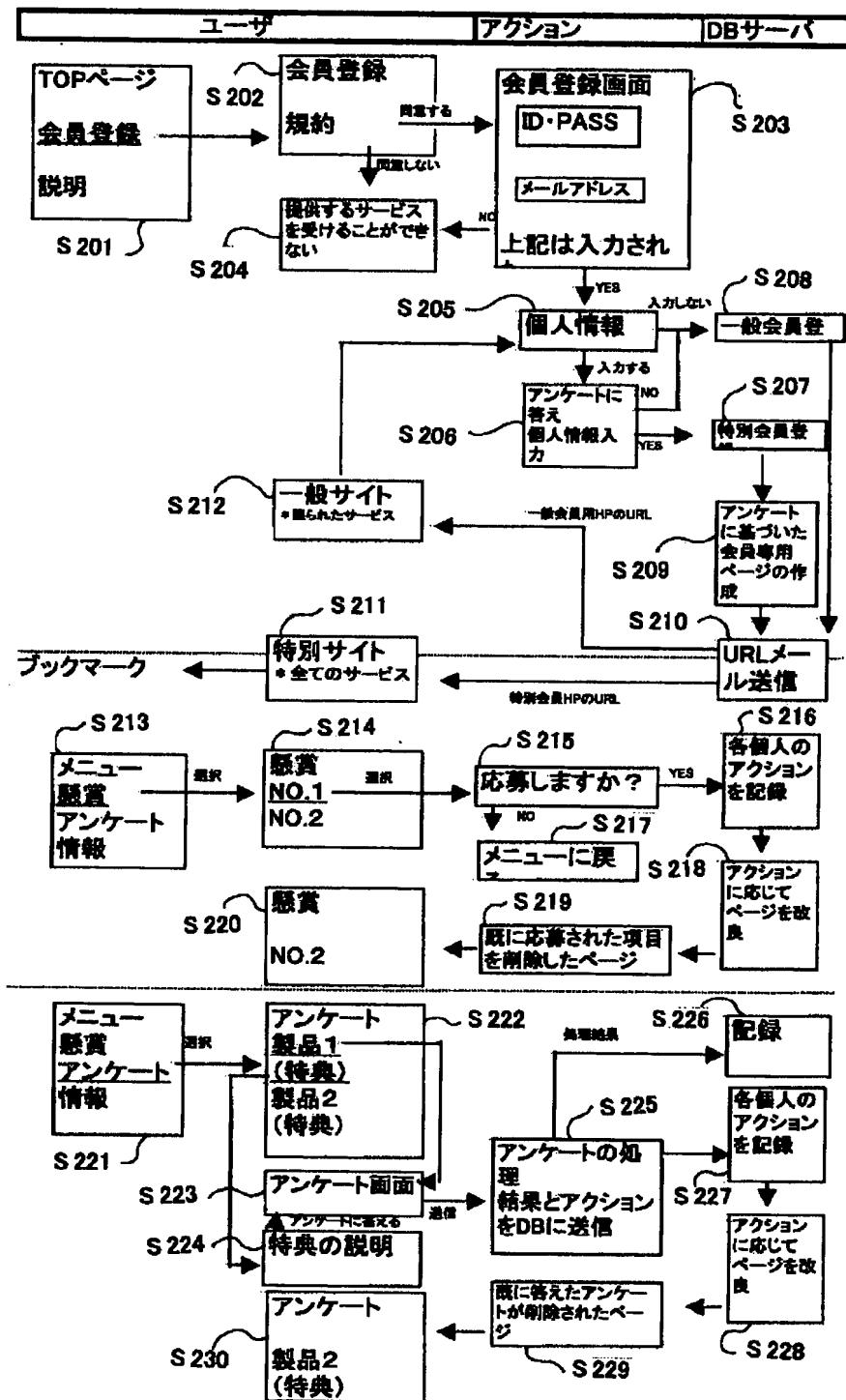
【図3】図3は、図1の抽選システムにおける抽選から当選手続までの処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 10 抽選システム
- 11 懸賞記憶部
- 12 コンテンツ記憶部
- 13 パーソナルデータ
- 14 応募者データ
- 15 サイト作成部
- 16 サイト送信部
- 17 抽選部
- 18 当選メール送受信部
- 20 インターネット
- 30 携帯サーバ
- 32 パケット網
- 40 携帯電話
- 50 パソコン端末
- 52 キーボード
- 54 プリンタ

【図1】





【図3】

